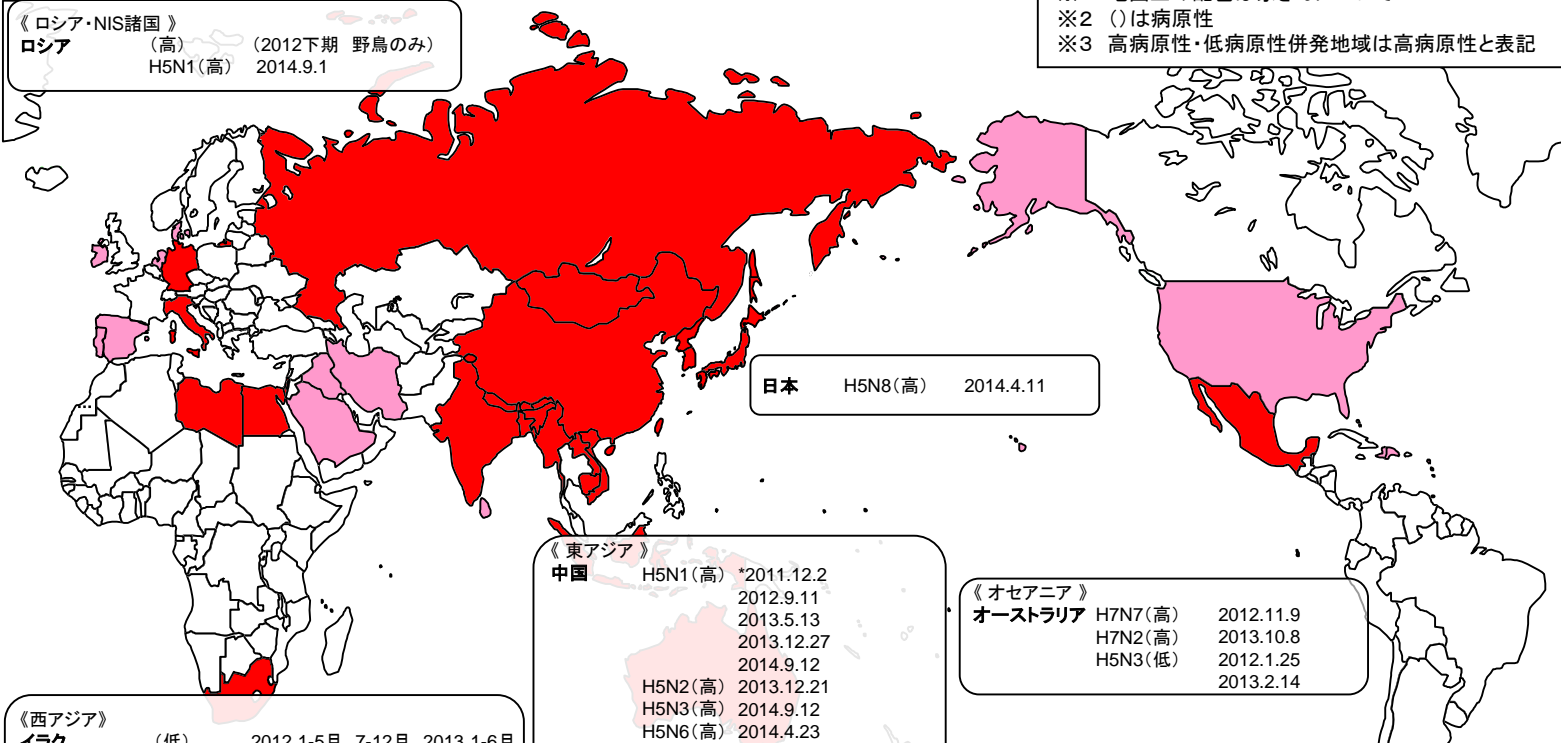


家きんの高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2012年以降)

高病原性発生地域 = ■
 低病原性発生地域 = ■

※1 地図上の配色は家きんについて
 ※2 () は病原性
 ※3 高病原性・低病原性併発地域は高病原性と表記

《ロシア・NIS諸国》
 ロシア (高) (2012下期 野鳥のみ)
 H5N1(高) 2014.9.1



日本 H5N8(高) 2014.4.11

《ヨーロッパ》
イタリア H7N7(高) 2013.8.10
 H5(低) 2012上・下期、2013上期
 H5N2, H7(低) 2012上・下期
 H7N2(低) 2012上期
 (低) 2012下期
オランダ H5N2(低) 2012.3.17
 2014.3.12
 H7N7(低) 2012.8.9
 2013.3.11
 2013.3.15
 2013.5.31
 2013.7.31
 H5N3(低) 2013.11.27
 H5N1(低) 2014.2.26
ドイツ H5(低) 2012.12.18
 H5N2(低) 2013.11.13
 H7N7(低) 2013.5.15
 H5N3(低) 2013.12.2
 H5N1(低) 2014.3.9
 H5N2(低) 2014.10.7
 H5N8(高) 2014.11.4
アイルランド H5N2(低) 2012.3.17
デンマーク H7(高) (2012.12.14 野鳥のみ)
 H7N7(低) 2013.5.31
スペイン H7N1(低) 2013.5.9
ポルトガル H7 2013.11.28

《アフリカ》
エジプト H5N1(高) 継続発生中
南アフリカ H5N2(高) *2011.2.1
 H5N2(低) 2012.1.13
 2012.6.1
 H7N1(低) 2012.2.24
 2013.10.20
 H7N7(低) 2013.2.28
 H7(低) 2013.7.30
サントメ・プリンシペ (低) 2012上・下期
リビア H5N1(高) 2014.3.4

《南アジア》
インド H5N1(高) (*2011.10.30 野鳥のみ)
 2012.1.3
 2012.10.12
 2013.2.27
 2013.7.30
 (2014.1.31 野鳥のみ)
パングラテシュ H5N1(高) *2007.2.5
イラン (低) 2012上・下期、2013上期
ネパール H5N1(高) *2011.11.10
 2012.8.27
 2014.2.13
 (低) 2012上・下期、2013上期
ブータン H5N1(高) *2011.12.30
スリランカ H5N2(低) 2012.1.20

《西アジア》
イラク (低) 2012 1-5月、7-12月、2013 1-6月
イスラエル H5N1(高) 2012.3.7
 H5(高) (2012.3.13 猫)
パレスチナ (低) 2012 1月、5月、6月
サウジアラビア (低) 2012下期

《東南アジア》
ベトナム H5N1(高) *2006.12.6
 2013.10.7
 H5N6(高) 2014.4.22
 H7(低) 2013.1.15
ラオス H5N6(高) 2014.3.13
 H5N6(低) 2014.7.14
インドネシア H5N1(高) 継続発生中
カンボジア H5N1(高) 2012.5.27
 2013.1.9
 2013.8.12
 2014.2.7
ミャンマー H5N1(高) 2012.2.20

《東アジア》
中国 H5N1(高) *2011.12.2
 2012.9.11
 2013.5.13
 2013.12.27
 2014.9.12
 H5N2(高) 2013.12.21
 H5N3(高) 2014.9.12
 H5N6(高) 2014.4.23
 2014.8.23
香港 H5N8(高) 2014.9.12
 H7N9(低) 2013.4.4
 H5N1(高) *2011.12.17
 (2013.1.25 野鳥のみ)
台湾 H7N9(低) 2014.1.27
 H5N2(高) 2012.2.7
 2012.11.17
 2014.4.15
 H5N1(高) 2012.7.7
 H5N2(低) *2011.11.25
 2012.11.12
 2014.4.21
韓国 H5N3(低) 2013.7.3
 H5N8(高) 2014.1.16
 2014.9.24
北朝鮮 H5N1(高) 2013.4.19
 2014.3.21
モンゴル (高) (2012上期 野鳥のみ)

《オセアニア》
オーストラリア H7N7(高) 2012.11.9
 H7N2(高) 2013.10.8
 H5N3(低) 2012.1.25
 2013.2.14

《南北アメリカ》
米国
 ニューヨーク州 H5(低) 2012.1.20
 2013.1.2
 サウスダコタ州 H5N2(低) 2012.1.30
 H5(低) 2013.2.1
 ペンシルバニア州 H7N2(低) 2013.10.22
 H7N7(低) 2013.6.6
 アーカンソー州 H5(低) 2014.2.11
 ニュージャージー州 H7N3(低) 2014.8.19
 H7(低) 2014.4.2
 デラウェア州 H7N3** (低) 2014.4.14
 カリフォルニア州 H5N8** (低) 2012.6.13
メキシコ H7N3(高) 2013.1.3
 2014.2.13
 H7N3(低) 2014.2.13
 コアウイラ州(含14州) H5N2(低) 2012 1月、3-6月、8月、2013 1-6月
ドミニカ共和国 (低) 2012上・下期、2013上期
ハイチ共和国 (低) 2012上・下期、2013上期

※1 更新点:ドイツにおける高病原性鳥インフルエンザ(H5N8)の発生
 ※2 本図は発生の有無を示したもので、その後の清浄性確認については記載していない
 ※3 日付は発生日または検体回収日に基づく

※4 *は初発が2011年以前であるが2012年以降も発生のあるものを示す
 ※5 **は日本で発生した高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N8)とは、遺伝的に異なる系統であると考えられる。
 出典:OIE WAHID 及び FAO等

2014年11月6日現在